

国際人権活動愛知連絡会 学習会

ヒバクシャ国際署名

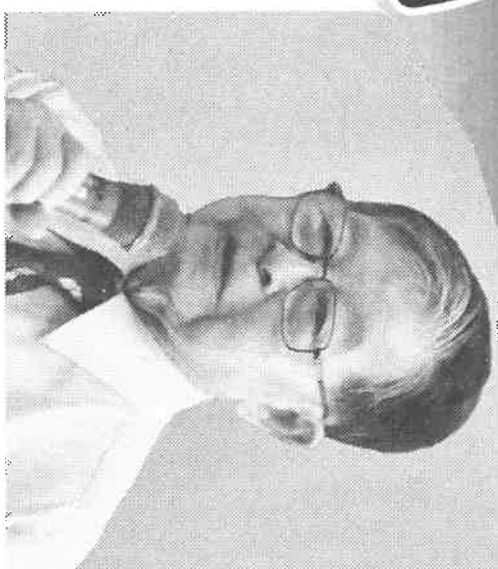
非核3原則

核兵器禁止条約締結

核兵器を世界から いかになくすか

昨年「ヒバクシャ国際署名」が始まり、国際的に核兵器廃絶の機運が高まっています。人類と核兵器は共存できないことは、ヒロシマ、ナガサキをあげるまでも無く、福島原発の事故を見ても明らかです。

しかし日本政府は、被爆国であるにもかかわらず、核兵器廃絶の運動にそむき、国連の「核兵器禁止条約決議案」に加わらず、核兵器廃絶の国際会議の席にすら着こうとせず、その空席には折鶴がそっと置かれていました。今回は被爆者でもある沢田昭二先生をお迎えして、ご自身の経験とともに、被爆者支援と、核兵器廃絶についてお話しいたします。



広島県広島市出身。13歳のとき広島で被爆。素粒子の理論物理学者。名古屋大学名誉教授。素粒子物理学の研究者として放射線の影響などの研究。核兵器廃絶運動を推進する。原爆症認定訴訟の原告側証人としても活躍されています。

沢田昭二さん

(名古屋大学名誉教授
愛知県原水協理事長)

9月2日(土)

午後2時00分～4時30分

参加費／資料代
500円

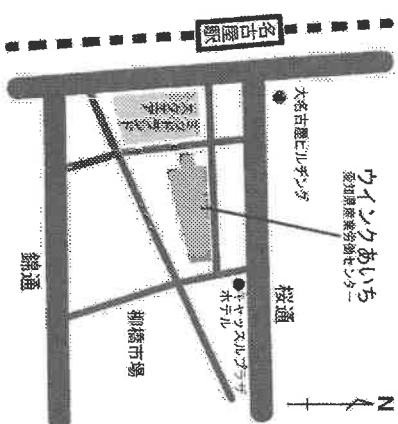
ライオンあいち1104 (定員84) ○名古屋市中区丸の内2-18-22 (三博ビル5階)

電話 052-211-2236 (恒川雅光弁護士・連絡会代表)

○名古屋市天白区山根町182

電話 052-802-8179 (杉原保教・連絡会事務局長)

主催：国際人権活動愛知連絡会
共催：原水爆禁止愛知県協議会
愛知県平和委員会



救 援 新 聞
〔1958年6月10日〕
第三種郵便物認可